

広島城基本構想（素案）に対する意見募集結果 別紙

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
1	基本構想 （素案） 全般	広島城址公園は、平和、文化芸術、歴史の面で、この街づくりのシンボルになるべき拠点だと考える。	本基本構想（素案）は、広島城の歴史・文化の発信拠点及び観光拠点としての魅力の向上を図るため、取組の基本的な考え方等を取りまとめたものです。 基本構想策定後、具体的な取組に関する検討を進めることとしています。 頂いた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
2		広島城の今後の取組の基本的な指針として「基本構想」を策定することは非常に有意義であると考えます。都心空間トライアングルの回遊性を向上させるためには、広島城の魅力向上は不可欠だと思う。	
3		広島城を含めた基町地区一帯の整備は、広島市の都心に賑わいを創出し、都市間競争を勝ち抜くための大きなカギとなることは間違いないと思う。街の未来を拓く要のプロジェクトとして、広島市が力強く推進されることを望む。	
4		現状、広島城は一定の市民にとっては、散歩、花見、神社参拝など「憩いの場」にはなっているが、果たして「広島（市民）のシンボル」になっているか。インバウンドを含めた観光客の増加によって、その価値が再確認されている現状がある気がする。	
5		①日本を代表する平城の一つと②広大な水堀の存在に関しては、意味合いが繋がっており、特徴としては同時に併記すべきである。	頂いた御意見を踏まえ、2-3(2)「広島城の特徴」における表現を修正しました。
6	その他の広島城の特徴は、①比類なき櫓の多さ、②三重の堀に守られた大胆で壮大な縄張り、③大天守に小天守二基を連結した壮大な天守群、これら3点を特徴として捉え具体的な整備案の中に取り入れていけば、さらなる広島城の魅力が伝わると考える。		
7		「城」の役割・機能、特に城の防御については、城跡内全体で学び体験できる場にすべきだと考える。縄張り全体で広島城の防御の仕組みを伝えていく必要がある。それには、現場で体験しながら学んでもらうことが一番で、広島城全体の回遊性も高まり、体験型にもなり、他の城跡にはない広島城ならではのオリジナルな仕掛けとなる。	広島城固有の特徴を十分に活かしながら、広島城の「歴史」と「城」の2大テーマに基づく魅力発信を行っていきたいと考えています。 頂いた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	天守閣	広島城天守の木造復元を実現してほしい。現在の天守は昭和中期に建てられた鉄筋コンクリート製であり決して本物とは言えない。実測図も残されていると聞いているので、忠実復元の実現が可能な建造物である。	広島城天守閣は、令和元年度に実施した耐震診断調査により、現状において耐震基準を満たしていないことが判明したことから、建物の耐震性を確保するための方策を講ずる必要があると考えています。 このため、令和2年度に、天守閣の耐震対策に関する計画の策定を進める中で、耐震改修、木造再建それぞれの工法や工期、費用、メリット・デメリット、その他の課
9		天守閣改修の際は、毛利氏が創建した当時の金箔瓦・金箔鯨に漆塗りの下見板張りの再現を望む。	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
10		2039年の築城450年までの中長期計画で、三層三階の東小天守と南小天守を備えた天守群を、金箔鯨瓦や鬼板瓦の櫓や屋敷、狭間などを備えた広島城を職人の力で可能な限り復元する。	<p>題を整理した上で、懇談会での議論等も踏まえながら、方向性を決定したいと考えています。</p> <p>頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。</p>
11		両小天守に関しては資料が揃わず、実現可能性はかなり低くなっているが、その現状をはっきりと伝え、小天守台の発掘調査の実施や新資料捜索の呼びかけなどを行うことで話題性を作り、広島城の注目度を向上させることも必要だと思う。	
12		復元を進める熊本城や名古屋城に多くの人たちが惹かれるのは、そこに夢があるからだと思う。ただ整備するためだけの構想に留まらず、みんながワクワクするような夢を抱くような具体的な計画を作っていてほしいと思う。	
13		天守閣の耐震改修の際は、天守閣内のエレベーターと、地上から天守閣へ上がる昇降装置設置を望む。地上からの昇降装置は付櫓を模した建造物にすればトイレや展示スペースの拡充に役立つと考える。	
14	三の丸の施設整備	三の丸の拠点では、広島を魅力、視覚・聴覚・味覚（嗅覚）・触覚（体験・体感）で感じられる場所にすべきである。常設の大型ビジョンで常に広島を魅力や歴史を紹介するコンテンツを放映するとか、チームラボが展開するようなデジタルアートで「触れて感覚的に広島を楽しく学ぶ」など、今までにない施設とそれを活かした取組が必要となる。	<p>本基本構想（素案）3-4において、三の丸は「広島城への来訪者のおもてなし拠点」とする基本的な考え方の下、具体的に導入が想定される機能を、①飲食・物販施設、②イベント広場、③展示空間、④観光案内所、⑤バス乗降場としています。</p> <p>また、飲食・物販施設については、水堀と天守閣を背景としたロケーションを活かすことや、例えば江戸時代風の意匠とするなど歴史的深みのある空間づくりの観点にも留意することとしています。</p> <p>これは飲食・物販施設に限定されるものではなく、三の丸全体における留意事項でもあるため、該当箇所を修正します。</p> <p>なお、三の丸へ整備する具体的な施設については、令和2年度に整備基本計画の策定を進める中で方向性等を整理し、民間事業者に提案を求めて最終的に決定することになります。</p> <p>頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。</p>
15		三の丸に新設される飲食・物販店舗は、竣工当時の建物を彷彿とさせる土台と板張りに、漆喰の白壁に瓦葺きの、広島城の建築様式で統一する。	
16		基本構想（素案）にある三の丸の「ウッドデッキ」は、「なぜ？」といわれぬように、あくまで城址の体裁を保たなければならない。	
17		広島城遊覧船のプレハブ小屋は、二の丸表御門の景観を台無しにしている。広島城の正面玄関にふさわしい景観のため「橋詰め広場」は大賛成できる。10年前、二の丸鉄砲狭間のすべてを使い、岩国藩鉄砲隊の射技演武を行ったが、プレハブが建てられたことで歴史景観がなくなり、以後、ここでの射技演武はあきらめた。	
18		遊覧船棧橋は、薄い鉄板と発泡スチロールの浮きで作られており、広島が誇る鉄鋼・棧橋・メッキ技術が活用されていない。景観と	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
19		して、木製の船着き場がふさわしい。 名古屋城金シャチ横丁は、大相撲名古屋場所の間だけはにぎやかだが、いつもは人が少ないと聞いている。	
20		三の丸は中央公園、サッカースタジアム、紙屋町地区のど真ん中に位置することから、回遊性の向上において非常に重要な役割を果たすポイントであり、再整備は必須であると考えます。	三の丸の施設整備は、都心の回遊性の向上を図る上で重要な取組であると考えており、頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
21		三の丸飲食・物販施設に関して、サッカースタジアムでのサンフレッチェ広島ホーム試合は年間20試合だけであり、また、紙屋町・大手町周辺の既存店やサッカースタジアムの飲食・物販施設との競合も不安材料である。最初は物珍しく1シーズンは注目されるが、その後の採算・費用対効果に大きな問題がある。 三の丸の飲食・物販施設は、第1段階として、花の精のスペースのみ「情報発信・案内所・展示・体験」の要素を包含した計画に留めるべきである。 その後、「メインストリート両側の飲食・物販」は、第2次、第3次と段階を踏んで構想を再構築するべきである。	三の丸の施設整備については、令和2年度に整備基本計画の策定を進める中で検討を行っていきます。 頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
22		三の丸「花の精」について、現在四隅にある花壇の横に、四つの別々の機能を持つ「城内の倉庫」風の木造建物を配置する。また、花壇は竹と棕櫚縄や檜皮など、日本庭園の小庭の体裁に改める。世界が驚く日本のトイレ設備は欠かせない。	三の丸の施設整備については、令和2年度、整備基本計画の策定を進める中で検討していくこととしており、「花の精」については、本基本構想（素案）3-4(4)において、三の丸への新たな機能導入に当たり三の丸に立地するモニュメント（噴水）が現在の場所に配置された経緯等にも十分考慮しながら検討することとしています。
23		圓鏝勝三作の三の丸「花の精」は、広島城三の丸の「地の利」には似つかわしくない。何故ここにあるのか制作意図を伝える日本語表示もなく、外国人には全く不明だろう。 「広島花供養」の広島市中央卸売市場中央市場花き部と協議の上、群像を原爆ドーム横の噴水と置き換える、又は、尾道市と「圓鏝勝三彫刻記念公園」への移設協議を行う。移設できないなら、現状で「広島花供養」を実施し、移設については継続して協議を行う。	頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
24	城郭建造物の復元・活用等（天守閣を除く）	大本営跡・防空作戦室跡は、崩れた箇所を修復し、当時の写真や説明を掲示することを望む。	本基本構想（素案）3-3において、本丸・二の丸では、大本営跡や防空作戦室跡といった旧軍関連遺構や被爆樹木などの遺構等を通じて、広島为重層的な「歴史」を体感できる空間づくりを目指し、また、ピースツーリズムの観点での活用には特に留意するとしています。 また、AR・VRなどの最新技術の活用により、往時の建物等の様子を体感できる

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
			<p>仕組みの導入を検討するとともに、防空作戦室跡の公開・保存に向けた検討を進めることとしています。</p> <p>頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。</p>
25		<p>櫓や門等、復元出来るだけの資料が揃っている建造物は、時間を掛けてでも可能な限り復元していく方向で進めていって欲しい。</p>	<p>令和2年度に、天守閣の耐震改修又は木造再建に関する方向性を決定していくこととしており、本丸・二の丸エリアにおける櫓や門等の城内建造物の復元などについては、今後、必要に応じて検討していきます。</p> <p>頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。</p>
26	<p>本丸上段の池を本丸下段に移設し、本丸上・下段を繋ぐ正門であった区画の復元を行う。これにより城跡としての景観を大きく損ねていた要素を解消し、また、池の存在も来場者へより印象付けられる。</p>		
27	<p>復元が城の魅力のすべてではないが、復元には、城郭の姿をリアルに体感させるだけでなく、復元に向けた研究を進めることで広島城自体の知られざる魅力や新事実が明らかになり、注目度や話題性が向上するというメリットがある。復元不可能な場所はARやVRでの復元が望ましいと思うが、特に中御門のように実現可能性の高い場所は復元に向かって動いてほしいと思う。</p>		
28	<p>本丸・二の丸各所の、崩落しかけていたり、明治以降に改変された石垣を、可能な個所は江戸期の状態に戻し、石垣崩壊の主因にもなっている石垣上の樹木の整理を望む。</p>	<p>本丸・二の丸等における石垣については、現状を把握するとともに、修復や維持管理等について検討する必要があると考えており、今後、取組を進めていきたいと考えています。</p>	
29	<p>本丸水堀のRCCがある側に三の丸北門の石垣基部の痕跡があり、これを活かす形で石積みの一部復元し、三の丸境界線の印象を与えることを狙う。</p>		
30	<p>内堀西側・中央公園寄りの石垣を再整備し、明治以降狭められている堀幅を、出来る範囲で旧態に近づける。</p>		
31	<p>すでに崩落して歯抜けになった石垣（中御門西側の算木積など）と、崩落の危険のある本丸及び堀周囲のすべての石垣の総点検とデジタルデータ収集を行い、石垣に入り込む樹木の撤去と巨大地震・豪雨災害での石垣崩壊防止策を講じる。</p>		
32	<p>武家屋敷跡にサッカースタジアム建設は辞めてほしい。武家屋敷跡とはいえ、将来的に資料が揃えば復元可能かもしれない。またその遺構を観光の用に足すことが将来的に可能になるかもしれない。建設するのであれば、出来る限り広島城跡からもう少し離れた場所に建ててほしいと感じる。</p>		
33	<p>裁判所裏の土塁も見学ができるように法務省などと交渉されることを望む。可能であ</p>		<p>本基本構想（素案）4-7において、江戸時代には現在の史跡広島城跡の範囲の外も含めて城下町が広がっていたため、現在の市内中心部には城下町の名残がみられることから、史跡広島城跡外の歴史スポットの活用を検討することとしています。</p> <p>頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。</p>

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
		れば土塁及び北側の廃止された住宅跡を含め史跡に追加されることを望む。	
34		三の丸北門から連なっていた土塁の一部が残存している。これを活用すべく調査・整備を行い、関係各方面と調整出来るようなら見学路を確保し、自由に見学できるようにする。	
35		中央公園・サッカースタジアム地区について、旧三の丸西側の中堀と石垣・土塁を復元し、平櫓一基を再建し、サッカースタジアム目的の来場者達にもここが城の敷地であったことを印象付ける。	
36		旧市民球場跡地の商工会議所寄りの一角に、石垣・土塁・二重櫓を設置する。これにより明治～大正期まであった「ヤグラ下」の名称を復活させ、「櫓下公園」等に改称することにより、イベントスペースとしての認知度と格の向上を図る。	
37		ひろしま美術館の敷地内には戦後すぐまで三の丸中門虎口が存在した。これを片側だけでも復元すると紙屋町から広島城に向かう時に城内に居るという印象を強く与えることが出来る。	
38		基町環境護岸地区にはかつて12基の二重櫓が存在した大変広島城らしい場所である。そのうちの一つの櫓台が地上に露出し見えているのを再整備・二重櫓再建を図り、他の幾つかの櫓台も再現する。	
39		中央公園内で試掘された西の馬出しや中堀跡の活用に関して、遺構の展示と天守への景観の整備をし、現在一般に認識されがちな広島城の範囲(内堀以内)以上の城の広がりを理解させる。また、中堀跡では実際の遺構表示やVR技術を用い、広島城の堀の幅で一番多かった十間の幅や堀の中での移動の難しさを体験させる。	
40		南御門跡の活用に関して、発掘調査を行い、遺構が出れば遺構を展示し、櫓下御門からのルートを整備する。また、AR復元などの可能性を探り、広島城入城のためのかつての重要なメインゲートを体感させる。	
41	公園環境整備等	天守閣下のトイレを改修し、ウォッシュレットトイレを設置する。トイレを完備した休憩場所(ガイドボランティア詰所)としてもよいと思う。	本丸・二の丸をはじめとする広島城の公園環境については、来訪者にとっての憩いの場になるよう、他都市の事例も踏まえつつ、植栽や歩道等の公園環境の改善を進めていきたいと考えています。 頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
42		平和公園から太田川(本川)沿いの遊歩道を通り、新サッカースタジアム前から国道54号線を横断歩道で渡り、広島城三の丸で	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
		休憩し、広島城を一周する、約1時間の「自転車平面観光ルート」を整備する。 この場合、中央バレーボール場の堀側ランニングコースは拡幅することが重要である。	
43		広島城天守閣下近辺の植栽を整理して駐輪場を整備し、天守閣礎石までのインバウンド自転車ルート表示が欲しい。	
44		RCC前と裏御門跡の工事用バリケードは、美観に配慮したものに改善する。	
45		夜間イベントで希少なニホンタンポポが踏みつけて影響を受けた。生物多様性条約に加盟しながら視点が全く欠落しているように思える。影響調査をきちんと実施してほしい。	
46		中央バレーボール場を観光バス駐車場に整備する際には、コート西側・堀沿いの細い通路を拡幅（車椅子や双子用ベビーカーが同時に離合できる広さ）することで、広島城一周全庁1.5km（ランニングコース）を、レンタル自転車で周遊することが可能となる。スマホで復元建物を見ながら、短時間で広島城全体を楽しむことが出来る。	本基本構想（素案）3-4(4)において、三の丸への新たな機能導入に必要な事業用地を確保するため、三の丸に立地する観光バス駐車場の中央バレーボール場への移転について検討するとしています。 頂いた御意見は、令和3年度以降のバス駐車場の移転に向けて、今後、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
47		中央バレーボール場の観光バス駐車場に、城南通りを左折して入車・出車する際、繁忙期には、北向きの1車線では、広島城東交差点での右折待ちの車と合わせ、恒常的な渋滞が予想される。 観光バスは1台だけでなく、何台も連なって入ってくる場合があり、その際、城南通りは入庫待ちのバスで1車線がふさがれる。したがって、観光バスは駐車場の北側から入り、南側から出ることにより渋滞が緩和される。	
48		城南通りから広島城東交差点までを、直進・右折レーンを設けた2車線に変更し、矢印信号機を導入する場合と、横断歩道・歩道・自転車専用道に移設する場合をプラン化する。	
49	アクセス	地下道は安全面（自転車・夜間）から避けたい面からもペDESTリアンデッキの整備は歓迎している。南方面に関してもペDESTリアンデッキを介してアクセス性が改善されることを期待したい。	「中央公園サッカースタジアム（仮称）基本計画」において、サッカースタジアムの整備計画地と三の丸との回遊性を高めるなどのため、幅員約8mのペDESTリアンデッキを整備することとしています。
50		紙屋町方面からのアクセスルートとなる地下歩道の美装化と、サッカースタジアムとの間を結ぶ「ペDESTリアンデッキ」の新設について、回遊性向上には歩行アクセスを容易にすることが肝心であり、その整備は必要な投資である。構想で計画されている	ペDESTリアンデッキの整備に関しては、三の丸のおもてなし拠点の整備にも大きく影響することから、当該整備事業との連携・調整を図っていきたいと考えています。 また、地下道については、案内表示の充

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
		アクセス整備については、十全にお願いしたいと思う。	実や美装化など、「中央公園の今後の活用に係る基本方針」に示された「回遊性・アクセス性の向上に関する取組」とも整合を図りながら検討を進めていきたいと考えています。
51		サッカースタジアムと広島城を結ぶペデストリアンデッキは、緩やかな勾配のスロープを設け、堀と広島城天守閣を高所から望む、張り出しの撮影ポイントを設けたい。	
52		広島城の4km上流の旧太田川東の堤防が破堤した場合、国は、広島県庁の地点で4.6m浸水するとシミュレーションしている。サッカースタジアムと広島城を結ぶペデストリアンデッキは、緊急避難を想定した構造物として設計してもらいたい。	
53		サッカースタジアム地区と広島城三の丸を繋ぐ幅広い地下道を造り、大人数の往来に供する。	
54		現状のひろしま美術館からの地下道は、狭く、直角に曲がる上、急勾配の坂がある。	
55		地下道という特殊性を逆手にとれば、整備の仕方によっては非日常的な空間へと誘う参道的な役割も担える。	
56		広島城の西から白島方面に向かう道の幅はあまり広くない。スタジアムが完成し、広島城三の丸エリアが改善されれば人が流入しやすくなる。JR新白島駅へ向かう人の流れが生まれることも容易に想像できるため、道路幅の拡張を検討してほしい。	「中央公園サッカースタジアム（仮称）基本計画」において、広島城の西から白島方面に向かう道については、「北側アクセスルート」と設定されており、「中央公園の今後の活用に関する基本方針」においても、必要に応じて再整備することが示されています。
57		新白島駅からの観光戦略が必要である。	
58		国道54号線から城南通りへの直角に曲がる自転車専用道の迂回ルートを設け、三の丸の飲食・物販施設方面への自転車通行は禁止する施策が必要と思われる。	
			自転車通行に関する歩行者等の安全確保について、今後、必要な対応について検討していきたいと考えています。
59	広報、情報発信等	城内・城外とも城跡にかかわる説明版・案内板の設置が圧倒的に少ないので早急に設置してほしい。	令和2年度事業として、浅野藩政期の城郭、櫓や門が所在した場所に、標識や説明版を設置する取組を進めることとしています。
60		ばらつきのある案内板なども、もっと統一感、多言語化が必要で、AR、QRコードなどの掲出と合わせて検討すべきである。	本基本構想（素案）4-2において、広報や情報発信について、公式ホームページの充実やパンフレット・案内板の充実等について示しており、必要な対応について検討を進めていくこととしています。 頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
61		広島城でも意味深い平和学習が可能であること、被爆に至る歴史と、被爆の実相、戦後の復興（広島城の再建）という歴史を一貫性をもって学べる場所であることを、専用パンフレット、アプリ（広島城全体のアプリのコンテンツとして）PRすべきである。	
62		広島城の良さを知らない人が多くもっていないので、広報宣伝をもっとやってほしい。御城印の発行、遊覧船、武将隊の広報、お城Expoなど全国イベントへの出展など。被爆の後に広島城の資材が復興に使われたとか	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
		大本営跡とか、平和を学ぶ一面もある。浅野入城400年の様々な企画展もとても面白かったので、もっと市民に親しんでほしいし、観光客も来てほしいと思う。	
63		近年、都市公園における民間活力活用事例は増えて全国で成果を上げており、民間活力の活用は非常に有効な手段である。さらに基本構想（素案）では、「広報・情報発信」の重要性についても触れており、テレビ、ラジオ、ネットなど様々なメディアで内外に情報を発信し続けることは賑わい創出には不可欠である。民間活用の選定にあたっては、事業者の情報発信力が重要な要素であると考えます。	
64	AR・VR	広島大本営跡と昭憲皇太后御座所跡がある本丸上段は、完全な本丸御殿の復元は難しい。ICT事業者、大学研究室、デジタル大工グループなどと連携し、4K・8K、4G・5Gのスマホで、竣工当時の広島城をAR・VRで疑似体験できる復元画像のデジタルガイドを導入する。広島城3D復元画像は、すでに放送局・出版社・官公庁用に販売されているので、是非広島城でも購入していただきたい。	本基本構想（素案）4-6において、スマホアプリやAR・VRをはじめとする最新技術の活用について、積極的な活用に向けて検討すると示しています。 頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
65		かつての広大な城域はすでに開発されてしまい復元することなどは難しいが、遺構の展示やパネルの設置、ARなどの最新技術を用い、広島城の規模や縄張りを可能な限り知ってもらうような整備をすべきである。	
66		かつての広大な城域を見渡せるような各ポイントにARポイントを設置し、スマホをかざしたりモニターを見たりすればかつての情景が浮かび上がるようにする。 例：パセーラ、折り鶴タワー： 広島城の広大な縄張りを一望 本川（太田川）西岸沿い： 太田川沿いに立ち並んだ二重櫓群の大きさ など	
67	イベント	広島城大天守での天空茶会を催し、世界平和首都として、来広されたお客様を歴史的由緒によって萩焼で正しくもてなす広島毛利文化を实践すべき。	本基本構想（素案）4-5において、広島城の魅力を多くの人々に知ってもらうためには、イベントをはじめとするソフト面の魅力向上・発信が重要であり、歴史的・文化的魅力を活かしたイベントやその他の様々な分野のイベントが多様な主体により開催されるよう、広島城の関係者間の連携強化をはじめ、必要な方策を検討すると示しています。
68		毛利輝元杯の広島柔道大会を、世界の平和の聖地広島で開催し、毛利家紋一品（いっぽん）に値する最高位のブランド、広島平和賞とすべき。	頂いた御意見は、具体的な検討を行う上での参考とさせていただきます。
69		今後も、基本構想の下、短期、中期の取組の過程において、既存の大規模イベントを継続して開催可能な配慮をお願いします。一帯	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
		の再開発が一段落した後に、基町地区へのにぎわいを継続的に維持するためにも大変重要な要素と考える。既存イベントを民間との共同の下、利用・活用すべきと思う。	
70		既存のイベントとの連動に加え、三の丸に計画される観光賑わい施設において、恒常的に「広島らしい催事・イベント」を規模の大小にとらわれずに、地元で根差した担い手によって開催し続け、定着させることも必要になる。「地産地消」をキーワードに、毎日のように「広島の食」が楽しめたり、「広島の音楽」が楽しめたり、「広島の伝統芸能」が楽しめる取組が必要だと考える。	
71		広島城内の広島護国神社とは「お城と神社」という稀有な環境を互いに協同して活かしていくべきである。神社とも協力して、神社前の本丸の広場を活用する方策も必要である。(飲食・衣(着物)など和に特化したイベントやアコースティックな音楽フェス「城フェス」(仮)など)	
72		ひろしまフードフェスティバルと菊花展について触れられていない。実施による多方面への影響と代替策の提案が議論に上がらなければ、市政に対する批判があると思われる。	
73	その他	広島おむすびと広島サンドイッチを御土産として開発することが広島城下町の経済発展になる。	頂いた御意見は、今後、広島の特産品のブランド化や販売促進を図る上での参考にさせていただきます。
74		「瀬戸内にぎり八冠」として瀬戸内海の地域のにぎり8冠を広島で一度に食べられるようにしよう。	頂いた御意見については、本市が取り組んでいる魚介類のブランド化を進めていく中での参考にさせていただきます。
75		広島城の堀は太田川汽水域であるので、巨大な生簀として、シジミやウナギを養殖し、地場産業を育成することが出来る。	御意見のとおり、太田川の汽水域にはウナギやシジミが生息しておりますが、広島城の堀は国の史跡に指定されており、管理上、これらの養殖は難しいと考えています。
76		市営住宅、県営住宅を解体して、景観都市として本来の広島城を復元する必要がある。	本市では、市営住宅の整備・管理に当たり、既存の市営住宅を有効に活用するため、耐用年限まで使用することを基本としています。 頂いた御意見は、市営住宅全体の再編・集約化を考える中で今後参考にさせていただきます。
77		コンテンツ作りには、広島の歴史文化などの豊富な映像・音声資料を持ち合わせる民間放送局のノウハウと知見を活かすべきである。	本基本構想(素案)4-1において、関係者が定期的に取り組む提案、協議、情報共有等を行う場を設けるなど関係者間の緊密な連携を図ることを示しており、必要に応じて協力を依頼することなども考えられます。
78		今後基本構想を進めるに当たり、ぜひこれからも民間のプロフェッショナルを検討委	

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
79		員などとして協議の場に加えてほしい。 スタジアムを作るのは反対である。人はたくさん来るかもしれないが、車が増えて道路が渋滞するし、ポイ捨てゴミも増えて街が汚くなると思う。	サッカースタジアムについては、令和2年3月に「中央公園サッカースタジアム（仮称）整備基本計画」を策定し、整備に向けた取組を進めることとしています。 周辺地域の生活環境を守ることができるよう、十分な対策を講じていきたいと考えています。
80		広島城遊覧船は、広島城築城で活躍した地元和船の技術を伝える舟ではなく、流れがほとんどない水深1m弱のお堀を、化石燃料を消費する船外機で運行するのは残念である。遊覧船事業を継続するなら、広島城築城当時を彷彿とさせる「手漕ぎ和船」を主眼に、抜本的で採算性がある事業に見直すことが肝要である。	頂いた御意見は、今後の遊覧船事業の実施に当たっての参考にさせていただきます。
81		堀の水質を汚す錦鯉（外来種）に「鯉のえさ」として運営団体が販売していることも、堀の富栄養化と水草や虫の発生を促進させている。	
82		平和公園の来場者を広島城に誘導するには「ぴーすくる」が有効。現在閉鎖中の原爆ドーム東側の古い公衆トイレ跡をロッカーと「ぴーすくる」のステーションとする。	頂いた御意見は、本市の自転車まちづくり事業を推進する上での参考とさせていただきます。
83		4K・8Kの5Gスマホを搭載した、観光客向けの多言語音声ガイド付きインバウンド・ぴーすくるを開発する。スマホを見ながら、3D復元の広島城を楽しみ、新白島駅・広島駅まで、インバウンド・ぴーすくるで楽々観光する。 また、リチウム電池は、災害時にはスマホに充電できるものを開発する。	
84		新広島駅ビルは、広電市内電車駅だけでなく、自転車観光にも優れた機能を充実させる。市内中心部の一般駐輪場整備をはじめ、各美術館・縮景園・比治山でも自転車観光の拠点化整備が望まれる。	
85		広島城跡公園・サッカースタジアムは、災害時には炊き出しが出来る「かまどベンチ」や「災害対応トイレ」「生活用水くみ上げポンプ」「ソーラー電光掲示板」、堀の水を消防車が取水できる通路など、災害に備えられた防災公園にし、外国人観光客にも修学旅行生にも細かな情報発信ができ、安心安全を確保できる公園避難所にする。	広島城跡及びサッカースタジアムを建設する中央公園広場は、地震、津波、大火の際の指定緊急避難場所に指定されています。 頂いた御意見は、指定緊急避難場所としての機能の維持・向上の検討に当たっての参考にさせていただきます。
86		平和記念公園、旧市民球場跡地の整備でも災害対応の観点が必要。防災施設も歴史景観に配慮した仕様とする。	平和記念公園は、地震及び大火の際の指定緊急避難場所に指定されています。 頂いた御意見は、指定緊急避難場所としての機能の維持・向上の検討に当たっての参考にさせていただきます。

番号	区分	意見の概要	本市の考え方
			<p>また、旧市民球場跡地については、「中央公園の今後の活用に係る基本方針」において、空間づくりに当たって留意すべきポイントとして、防災機能や安全性の確保が示されています。</p> <p>頂いた御意見は、今後の旧市民球場跡地の整備に当たっての参考にさせていただきます。</p>